

令和6年度 事業経営評価

団体名	(株) 大阪港トランスポートシステム	所管所属名	大阪港湾局
-----	--------------------	-------	-------

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	本市臨海部における交通需要に対応する輸送手段となる鉄道路線として整備する北港テクノポート線のうち、2025年日本国際博覧会の会場となる夢洲地区への主要な輸送手段となる鉄道路線である南ルート部分を本市の計画に則った適切な時期までに確実に建設し開業させること。
	(2) 中期目標期間
	令和2年9月1日から令和7年3月31日
	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	北港テクノポート線のうち、南ルート部分を中期目標期間終了時まで、開業している状態。

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

外郭団体の自己評価	最終目標達成状況	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価
	ア イ ウ	中期目標において定められた、2025年日本国際博覧会の会場となる夢洲地区への主要な輸送手段となる鉄道路線である北港テクノポート線南ルートの建設及び開業については、定められた期間（令和2年9月1日から令和7年3月31日）内に建設が完了し令和7年1月19日に開業を迎えたことから、当社としては目標の達成に向けて関係先との適切な協議及び工事を計画的に進めた結果、定められた目標を計画どおり達成出来たと評価している。
中期目標の期間を通じた評価	市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価
		北港テクノポート線のうちの南ルート部分の2024年度開業に向けて、関係先との適切な協議及び工事を計画的に進めるとともに、鉄道整備に係る安定・確実な資金を調達し、返済計画を策定したことにより、中期計画の最終年度に定める「建設費をベースとした事業進捗率100%」の指標を達成しており、中期目標においてめざしていた「北港テクノポート線のうち、南ルート部分を中期目標期間終了時まで、開業している状態」が実現できたと評価する。
		助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一 1 (※分野ごとの評価)

中期計画	団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容	
	大阪臨海部活性化に向けた施策を支える鉄道事業の推進 ・大阪市及び鉄道運行者と協力し、北港テクノポート線のうちの南ルート部分（コスモスクエア～夢洲間）の2024年度開業に向けた鉄道施設の整備 ・鉄道整備に係る安定・確実な資金の調達、返済計画の策定	

中期計画達成状況	指標 I	建設費をベースとした事業進捗率				
		R2	R3	R4	R5	R6【最終】
	目標値		1.30%	12.10%	24.60%	100%
	実績値		1.30%	4.60%	24.40%	100.00%
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）						
2020年2月に作成した北港テクノポート線南ルートの建設スケジュールを基に、中期計画において定めた2024年度の開業に向け各種施設の建設及び各種申請及び検査を受検し、2025年1月19日に開業を迎えた。 ※令和3～5年度の実績値に関しては、当初見込んでいた総建設費230億円を分母として「事業進捗率」を計算しているが、最終年度である令和6年度に至り、工事内容等を精査した結果、総建設費が188億円となったことから、最終年度の「事業進捗率」は188億円を分母として算出している。						

外郭団体の自己評価	中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成
	中期計画期間の達成状況について		
大阪市を含む関係機関及び鉄道運行者と協力し、北港テクノポート線南ルート部分（コスモスクエア～夢洲間）の2024年度開業に向けた鉄道施設の整備をおこない、中期目標において定められた目標期間内の開業について、2025年1月19日に開業を迎えたことから、目標を達成出来たと評価している。 また、鉄道整備における安定・確実な資金の調達については、大阪市負担金及びJRIT（（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）借入金により当初計画の範囲内で調達し、JRITからの借入金については中長期の事業計画をもとに現実的な返済計画を策定した。			

市の審査	中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み（計画期間中） ウ：未達成	「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	北港テクノポート線のうちの南ルート部分（コスモスクエア～夢洲間）の2024年度開業に向けた鉄道施設の整備については、関係先との適切な協議及び工事を計画的に進めた結果、指標の目標値を達成し、計画どおり開業を迎えることができた。 また、鉄道整備に係る安定・確実な資金の調達、返済計画の策定についても、当初計画の範囲内で調達し、借入金については、中長期の事業計画をもとに現実的な返済計画を策定したことから、団体の評価は妥当である。					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
中期目標とした北港テクノポート線南ルート部分の2024年度開業について、団体が中期目標期間を通じて鉄道施設の整備及びそれに伴う資金調達並びに返済計画の策定を着実に実施するなど、中期計画に示した事業活動に計画的に取り組むことにより、予定通り令和7年1月に開業を迎えることができたことから、団体の取組は中期目標の達成に有効であったと評価できる。						